

2023
—
Vol. 3

発行：広島県社会福祉法人経営青年会
広島県社会福祉法人経営青年会事務局
〒732-0816 広島市南区比治山本町 12-2
広島県社会福祉会館内
TEL082-254-3416 FAX082-256-2228

未来の福祉業界に夢と希望を創る

JIDAI

- じだい -



会長 上栗健登
TAKETO KAMIKURI

2023年(令和5年)、「with コロナ時代」に入り、新しい日常が始まろうとしています。青年会はこのように変わりゆく時代に順応してそれに添う活動、途切れることのないサステイナブルな活動を目指します。そのため、これまでの事業方針に加え新たに「変化する社会に順応するソーシャルキャピタルの醸成」を掲げ、実践へと取り組んでいく所存です。

種別を超えた社会福祉法人同士が「信頼」「規範」「ネットワーク」といった社会組織の特徴を活かし福祉界の効率を高めるために、多彩な研修会・深みのある勉強会・仲間とつながる交流会を進めてまいります。会員の皆さんはもちろん、会員所属のご法人へもメリットとして有益に働くと考えます。

青年会は、社会福祉法人に属するすべての職員・スタッフが参加できる「つながる場」です。ご法人の未来を担う職員・スタッフの資質向上を促す一端の場としてご一考いただけすると幸いです。

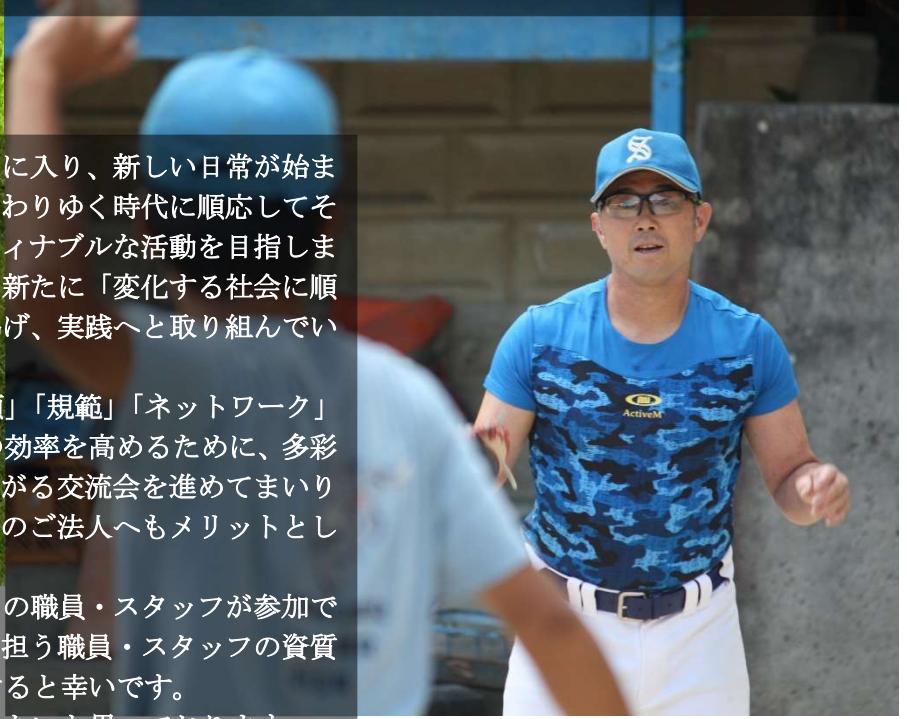
次代を担う人材として共に育っていきたいと思っております。

【ごあいさつ】

「広島県社会福祉法人経営青年会」(以下「青年会」)は今年 25 年目を迎えました。

「じだいをつくる、じだいをつなぐ、共に…」をスローガンに掲げて(コロナ禍前後で激変した時代を繋ぎ、新しい次代を共に創り共生していく…、そんな意図を含んでおります)活動を展開しております。

1998 年(平成 10 年)、時はまさに「社会福祉基礎構造改革」という社会福祉界のパラダイムシフトが起こり、これに応えるため今の前身である「広島県社会福祉法人青年経営者会」として発足いたしました。以来、青年会は素々と地道な活動を進めながら、確実な成果と実績を積み上げてきました。これもひとえに、その時々の会員の皆さんの尽力と、ご法人のご理解と、ご配慮の賜物と心より感謝いたしますしております。



人材育成委員会 A

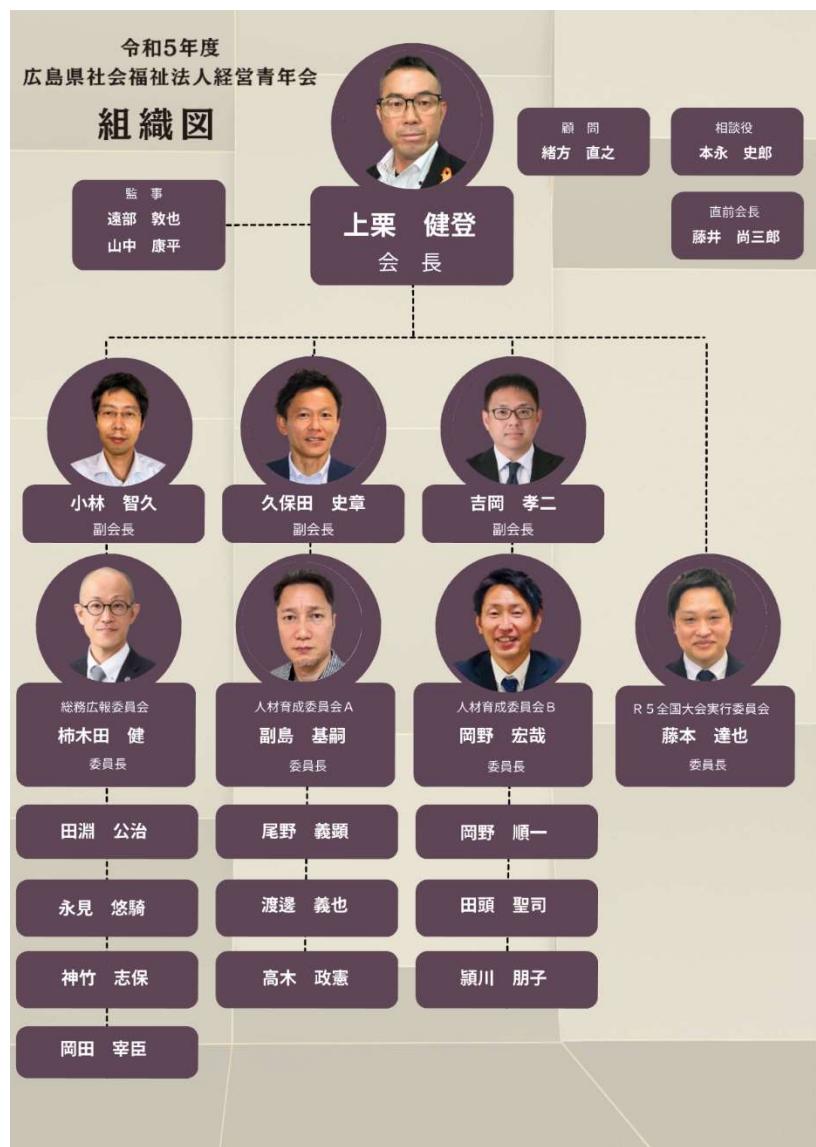
人材育成委員会 A は、人材育成に資する研修会や他の職能団体との勉強会、交流会の実施により会員の資質向上や他業種連携の活性化を目的とした研修を企画しています。今年度は、分野や職種を超えた『つながる』研修会を開催できるよう委員全員で取り組んでいます。

青年会の研修では、専門家のお話しや実践事例に触れる貴重な機会はもちろん、参加者同士の交流で資質向上だけでなく頼れる仲間もできます。これまでも、実務に直結するものからプライベートの充実につながるものなど多くの研修を開催してきました。そのたびにアップデートされ、新たなネットワークが広がっています。これからも、途切れることなく時代の流れに沿った研修を企画してまいります。

「with コロナ時代」が始まりました。できれば対面での研修会と飲食を伴う交流会を企画したいと考えています。会員の皆さんはもちろん、社会福祉法人に属する次代を担う皆さんの参加をお待ちしております。

INFORMATION ご案内

経営青年会 組織図について



人材育成委員会 B

人材育成委員会 B では、「じだいをつくる」を目的に、信頼、規範、ネットワーク、そして変化する社会に順応するソーシャルキャピタルの醸成を中心に、総合的な研修を実施していきます。信頼は持続的な協力関係を築くものであり、研修ではコミュニケーションスキルやチームワークを通じて信頼の重要性の理解に努めています。規範に基づいた倫理的リーダーシップは信用を築き、組織の長期的な成功に繋げます。

倫理的な行動規範を学び、実践の場を提供することで、リーダーシップ力の向上に努めています。ネットワークは新たな視点や異なる分野との繋がりを築き、多様な情報を得ることができ、ソーシャルキャピタルの醸成となります。経営青年会の人材育成委員会 B は、これらの要素を取り入れた研修を企画し、研修を通じて次世代の人材が信頼と倫理規範に基づいた能力を構築し、広範なネットワークを活かすことができるよう取り組んでいきますので、研修会への参加をお待ちしております。

総務広報委員会

総務広報委員会では、会員拡大と会員への広報活動を目的として今年度は①総会の運営②インスタグラム投稿（会の活動内容や会員紹介）③ホームページ更新（会の活動内容）④本会広報誌「JIDAI」の発行⑤広島県社会福祉法人経営者協議会情報誌「ウェルひろしま」への青年会活動報告の5つを取り組んでいます。

会員のみなさまには、活動内容につきまして、意見や提案がありましたら、お気軽にご連絡ください。みなさまのご意見は私たちの改善に役に立ちますし、より良い情報提供を実現するための重要な要素と考えております。どんな些細なことでも結構ですので、お気軽にご意見をお聞かせいただければ幸いです。

また、今年度も新規会員の初年度年会費無料キャンペーンを実施しておりますので、会員のみなさまには、会員勧誘の声掛けをお願いします。そのためにも広報活動をより一層取り組んでいきたいと考えております。

Topics
セミナー
開催

「今後の感染症に備えるための 体制づくりについて」 ～～～ 広島市東区総合福祉センターにて ～～～

8月23日（水）に広島県看護協会総務部の西中艶子さん、広島大学病院感染制御部副部長の森美菜子さんをお招きして「今後の感染症に備えるための体制づくりについて」を開催いたしました。

数年前より、会の方向性として「他業種連携」を掲げており、今回は第一歩となる看護協会との連携も含めた研修会となりました。

はじめに、広島県看護協会の組織や役割、活動内容を説明していただき、次に新型コロナウイルス感染症を例に、実際の対応や今後に向けて必要なことを講義していただきました。新型コロナウイルス感染症の対応では、最先端の医療機関での実際や現在に至るまでの対応の変化などを詳しく説明してくださいました。実際の対応の中で印象に残ったことは、「費用対効果がどの程度あるかを常に考えている」ということでした。これには正確なデータ取得し、分析して、どこまでそこに費用や労力を費やすかということでありました。大学病院では、無症状者が半数近くいるというデータに基づき、来院時の検温（検温する人、検温時異常がみられた時に対応する人、それを判断する人などの配置）などもその考えで廃止したということでした。この考え方については、この先を迎える急激な時代の流れに対応していくために我々も必要となってくると再認識いたしました。

最後に、今回の研修を通じて、今後も看護協会の方々と連携を図っていく上で一つのきっかけとなったと思います。



Topics
セミナー
開催

「第26回 社会福祉法人 経営青年会 全国大会」開催

令和5年10月26日、27日の2日間で、第26回社会福祉法人経営青年会全国大会が開催されました。今年の開催地は広島県です。

広島県経営青年会では全国大会実行委員を発足し、令和4年7月から準備を始めました。テーマは「じだいをつくる～福祉の次世代の人材育成～」とし、元プロ野球選手の達川光男氏、株式会社八天堂ファームの林義之氏、オタフクホールディングス株式会社の佐々木茂喜氏の他、分科会として社会福祉法人の経営に必要なテーマで講演をしていただきました。

全国大会の申し込みは383名となり、当初予定していた300名を大幅に超える参加となりました。参加者は北海道から沖縄まで多くの方に参加していただき、26日の懇親会では「ふるさと自慢」として、自身の県や市の良いところを熱く発表していただきました。また「おみやげ抽選会」では広島県ゆかりのある商品をお土産として、県外の方に振る舞うこともできました。

広島県経営青年会では6人から始まった実行委員も開催する際には26人となり、一人ひとりが役割を持ち活動していました。2日間トラブルなく開催することができたのも、広島県経営青年会一人ひとりの活躍によるところだと思います。この全国大会の実行委員は開催だけで終わらず、この結束を今後の広島県経営青年会の活動でも実践していかなければと思います。



NEW
FACE

令和5年度 14名 新規入会者



広島県社会福祉法人経営青年会では、50歳以下の福祉人仲間を募集しています。

興味のある方、ご法人様からのお問合せをお待ちしております。♪

編集・製作・発行：広島県社会福祉法人経営青年会 総務広報委員会

